

2022年3月25日

- 【基本方針】
1. 同窓会活動の積極的推進
 2. 母校・KTCとの連携強化
 3. 組織の若返り・活性化活動の展開

部会	2021年度活動計画&実績	2022年度活動計画
総務・HP	<ul style="list-style-type: none"> ・学生自主活動支援(フォーミュラ・レスキューロボ) フォーミュラは総合優勝、レスキューロボ奨励賞受賞 ・広報活動の充実 HPの改良と更新案内発行 ・メールアドレス登録の促進 各クラス会の開催促進と代表を通じてアドレスの更新 2015年12月1594名(26%)→2017年12月1890名(30%) →2020年3月2030名(6374名中、31.8%) →2022年3月33%以上を目標⇒実績32.4% ・同窓会開催支援: <ol style="list-style-type: none"> ① 連絡先の情報提供 ② 同窓会開催報告のホームページへの掲載2件 ・テレ会議システムの活用(Zoom ほか) ・工学部 100周年記念行事への参画 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生自主活動支援(フォーミュラ・レスキューロボ) ・メールアドレス登録の促進 各クラス会の開催促進と代表を通じてアドレスの更新 2015年12月1594名(26%)⇒2023年3月33%以上を目標 ・各クラス同窓会開催支援: <ol style="list-style-type: none"> ①連絡先の情報提供 ②テレ会議システム活用 ③同窓会の開催報告のホームページへの掲載 ・テレ会議システム(Zoom)の活用(会議、クラス会ほか) ・工学部 100周年記念行事への参画 具体的な行事内容により、参画方法を決定する ・機械クラブとKTCの関係を説明し年会費への理解と協力をお願いする。
財務	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年の年会費納入者は450名。 年会費収入 894,000円(予算1,052,000円) ・ご寄付を戴いた方 33名 寄付金収入 374,000円(予算300,000円) ・KTCからの交付金収入 182,500円(予算通り) ・支出は 表彰関係 400,000円(予算通り) 新入会員歓迎記念品 210,496円(予算通り) 学生支援(フォーミュラ六甲おろし) 350,000円(予算通り) 機械クラブだより関係 274,175円(予算250,000円) 講演会講師謝礼 60,000円(予算通り) 東京支部支援金 80,000円(予算通り) 支出合計 1,265,371円 ・以上の結果、単年度で185,150円の黒字となり 1,546,044円を次年度へ繰り越した。 ・次年度の複数年納入者は304名 ・機械クラブだより19号、20号に年会費納入者名簿を別冊として作成し、配布した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・春と秋の機械クラブだよりにあわせて年会費納入者名簿を作成する。 ◇春(21号)は2021年の年会納入者 機械クラブだより21号の別冊では前号でも案内した、ゆうちょ銀行が「加算料金」を新設し、徴取が始まったその内容の説明を1ページ目に記した。 ◇秋(22号)は2022年の年会費納入者の中間報告 ・コロナがおさまり、親睦会、見学会等が行える世の中になり、年会費の納入が低調な場合は年会費のお願いメールの発信を考える。
機関誌	<ul style="list-style-type: none"> 下記原稿の編集 ・機関誌93号(2021年9月) ・「機械クラブだより」第20号(2021年9月) ・機関誌94号(2022年3月) ・「機械クラブだより」第21号(2022年3月) 課題: コロナ禍での「機械クラブだより」記事企画 	<ul style="list-style-type: none"> 下記原稿の編集 ・機関誌95号(2022年9月) ・「機械クラブだより」第22号(2022年9月) ・機関誌96号(2023年3月) ・「機械クラブだより」第23号(2023年3月) 課題: 部会員人数増と「機械クラブだより」の編集企画
講演会	<ul style="list-style-type: none"> ・「先輩は語る」4月28日(水)8:50～ 講師: 西田 勇 氏(神戸大学) 演題: デジタルトランスフォーメーション(DX)における機械工学の強み 同時開催: 学生の国際活動報告 ・「六甲祭協賛講演会」11月13日(土)10:00～ 講師: 横小路 泰義 教授 演題: これからのものづくりを担うロボット技術 	<ul style="list-style-type: none"> ・「先輩は語る」4月27日 or 5月11日(水)8:50～ 講師: 佐藤 有香理 氏(キャタピラ)(予定) 同時開催: 学生の国際活動報告 ・「六甲祭協賛講演会」11月12日(土)10:00～ 講師: 菅野 公二 教授(予定) 同時開催: 学生フォーミュラ、レスキューロボ活動報告

部 会	2021 年度活動計画&実績	2022 年度活動計画
	<p>同時開催:学生フォーミュラ, レスキューロボ活動報告</p> <p>・「若手研究者は今」12月4日(土)11:30~ 講師:寺本 武司 助教 演題:高性能アクチュエータ実現を目指した形状記憶合金の材料設計</p> <p>前年度に続き今年度も新型コロナウイルスの感染が終息せず、オンライン形式で開催となった。</p>	<p>・「若手研究者は今」12月3日 or 10日(土)11:30~ 講師: 石田 駿一 助教(予定)</p>
見学会	<p>・コロナ感染の終息やワクチンの接種予定が不確定であり、2021年度も開催しない予定。</p>	<p>・ワクチン接種2回目迄は進展したが、コロナ感染終息目処たらず、2022年度も開催見送りの予定。</p>
会員親睦	<p>第179回: 11名の参加、M⑰菅野俊氏が優勝 第180回: 7月度天候不良で中止。 9月度にリベンジ企画するも、雨で中止 第181回: 12名の参加。植田敏明氏が優勝。New faceの長谷川圭氏はNet一位なれど、準優勝。 ・若手メンバーへの声掛けで若干名の親睦会登録あり(2名) ・KTCMGロゴマーク入りボールを181回参加者に配布</p>	<p>第182回:04/08 東条・宇城コース 第183回:07/08 東条・大蔵コース 第184回:10/14 東条・東条コース</p> <p>目標:参加者数 15。 ・若手OBへの部会参加声掛け ・HC見直し年度で、後期高齢者の奮起に期待</p>
座談会	<p>・第8回基幹座談会「学生時代と社会人生活を語る座談会」を2021年5月中旬、コロナ禍が収束する前提で、工学部で開催予定。(Web方式も検討) 当該回生出席予定者: 10数名 ・第6回「機械技術者生活を語る座談会」を2021年10月にコロナ禍が収束する前提で、工学部で開催予定。(Web方式も検討) 話題提供者:2~3名: 学生出席予定者:26名程度の予定。</p>	<p>・2021年度中止になった両座談会を2022年度にスライドした計画とする。 ・第8回基幹座談会「学生時代と社会人生活を語る座談会」を2022年5月中旬、コロナ禍が収束する前提で、工学部で開催予定。(Web方式も検討) 当該回生出席予定者: 10数名 ・第6回「機械技術者生活を語る座談会」を2022年10月にコロナ禍が収束する前提で、工学部で開催予定。(Web方式も検討) 話題提供者:2~3名: 学生出席予定者:26名程度の予定。</p>
クラブ精密	<p>クラブ精密第34回例会はコロナのため中止。</p>	<p>クラブ精密は、コロナのため本年度例会は延期の予定。</p>
東京支部	<p>通常は年に3回程度実施している幹事会はメールによる意見交換で代替した。 ・例年は7月に実施している東京支部総会は、コロナの終息が見えないため、21年度は実施を見送ることとした。会計報告等については、メールで支部会員に知らせることとした。 ・東京支部見学会も同様にコロナが終息しないため実施を見送った。 ・新年会についても取りやめた。</p>	<p>・コロナの状況にもよるが、幹事会はなるべく対面での実施を追求していく。対面での実施が難しい場合は、21年度と同様にメールを活用した方式で行う。 ・東京支部総会についても、可能であれば例年通りに7月に実施を計画するが、コロナの状況を注視しながら状況に応じて対応する。 ・東京支部見学会もコロナの状況次第であるが、オンライン(ZOOM活用)での講演会も検討していく。 ・新年会も可能であれば実施したい。</p>
理・代会	<p>第1回理事・代表会 6月5日(土)開催 第2回理事・代表会 12月4日(土)開催</p>	<p>第1回理事・代表会 6月4日(土)予定 第2回理事・代表会 12月3日(土)予定</p>
総会	<p>2022年3月25日(金)開催</p>	<p>2023年3月24日(金)予定</p>

その他

1. 会計監査 2022年2月9日実施
2. 卒業生 8350名 現存会員数 6520名 物故者 1830名
メールアドレス登録者数 2114名(32.4%)
3. M②井上理文氏工学功労賞受賞 10/30 ホームカミングデイ